

名古屋市立城北小学校での出前講座実施報告

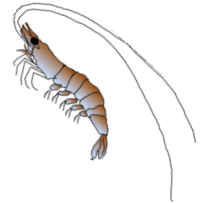
名古屋自然保護官事務所は、6月20日に名古屋市立城北小学校にて出前講座を実施しました。

小学校4年生3クラス（106名）を対象に、総合学習の時間に藤前干潟の生き物と環境について知ることを目的として、出前講座を実施しました。

講座の内容は、主に藤前干潟の特徴と生息する多様な生物の紹介、漂着ごみの問題と現状です。

今回も干潟の泥や生きものを持参して触れあってもらいました。皆さんは動くカニや貝を手に取り興味深そうに観察している様子でした。また、過去に藤前干潟が埋め立てられそうになった経緯や干潟が守られるように市民が運動したことも説明しました。さらに、埋め立てから回避された現在でも、川や海からごみが藤前干潟にたくさん流れ着き、干潟や海域等に生息する生き物に甚大な影響を与えていることを伝えました。

最後に、ごみを減らすためにどうすればいいのか、干潟を守る為に自分たちに何ができるのかを皆さんに考えてもらい発表してもらいました。すると「ごみは分別して捨てる」「ごみを捨てないで」という看板を立てる」「ペットボトルは繰り返し使用する」等の誰もが簡単にできる意見が出ました。藤前干潟のごみ問題の話を通して、自然環境を守る大切さを理解していただけたかと思います。



講座の様子

◆実施概要◆

実施日：平成26年6月20日（金）9:40～12:25
 場所：名古屋市立城北小学校（北区）
 対象：小学校4年生（3クラス、計106名）
 対応：名古屋自然保護官事務所職員2名
 インターンシップ生 1名

◆講座の内容◆

テーマ	藤前干潟の生き物と自然
1.	「ひがた」ってなに？ <ul style="list-style-type: none"> ・何からできているのか、どこにあるのか？ ・干潟の不思議な特徴
2.	干潟に住む多様な生き物たち <ul style="list-style-type: none"> ・貝類、カニ類、鳥類の紹介
3.	藤前干潟の悩み <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの被害者 ・干潟に流れ着くたくさんのごみ
4.	ごみを減らすために自分たちができること



2014年6月23日
 名古屋自然保護官事務所
 アクティブレンジャー 上野淳一